

いろどり 彩

第2号 平成31年4月11日(木)



卯月

第1学年 学年通信

文責 竹川由紀子

希望・期待・決意の空気に包まれた入学式・対面式

入学式にのぞむ138名の1年生の態度は素晴らしかったです。しっかりと伸びた背筋、力のあるまなざし、話を真剣に聞く表情など小学校6年間で身に付けてきた多くのことを感じました。同時に中学校入学への新鮮な気持ちや期待、決意も感じました。

10日に行われた対面式は2・3年生のすべての先輩方との出会いの場面でした。江谷俊紀さんが新入生代表としてあいさつを行いました。これから始まる1年生の生活に期待を寄せる立派なあいさつでした。下に、原文のまま載せていますのでご覧ください。対面式の後のリエンションでは、附中での生活や学習、美化活動や保健室の利用について説明がありました。長い時間、同じ姿勢を保って話を聞く時間となりましたが、姿勢や気持ちをくずさずしっかりとした態度で話を聞く1年生の姿はとても立派でした。力強い中学校生活のスタートです。

暖か春の訪れと共に、私たち平成三十一年度新入生一三八名は、鳥取大学附属中学校に入学しました。本日は、このような対面式を行ってくださり、ありがとうございます。

新元号の発表と共に、新しい時代を迎えようとしていきます。新元号「令和」には、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められていくことを知りました。そんな新しい時代の幕開けに、すばらしい伝統のある鳥取大学附属中学校の1年生として過ごせることを、たいへんうれしく思っています。

私たちはこれから、仲間と支え合い、励まし合いながら「文武併進」「切磋琢磨」の心を忘れずに、高い志をもって過ごしていきたいです。時には、迷うことや立ち止まることもありますが、先輩方、どうかお力を貸してください。

新入生一同、附属中学校の生徒として、誇りをもち、充実した中学校生活を送りたいと思います。これから、どうぞよろしくお願い致します。

平成三十一年四月十日 新入生代表 江谷俊紀